

学習内容報告書 フォーマット

学校名	呉市立蒲刈中学校
授業者	高村 徹也 森田 智美 河村 省吾 西島 菜於子 宇都宮 富士夫 開内 佑樹 大上 憲和 松本 京子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海洋学習遠足

1-2. 学年

1・2・3学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

国語 理科 英語 総合的な学習の時間 特別活動

1-4. 単元の概要

しまね海洋館（アクアス）を訪れ、館内の見学をするとともにアクアスの職員による海洋学習を受講した。また、石見海浜で、海洋生物の生態や海岸への漂着物についての実地観察等も行った。この活動を行うにあたって次のような活動を行う。

- (1) 海洋学習をするにあたって、地域の海岸や海の様子を観察し、地域の良さや特徴を再発見する。
- (2) 海や島をテーマにした写真コンクールを実施する。
- (3) 山間部の中学校との交流を通して、地域の良さを再認識したり、山間部との違いや課題を考えたりする。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本中学校は、海に囲まれた瀬戸内海の島にある。日常生活の中に海が当たり前のようにあるが、実際に海の生物に触れたり、海で活動したりする経験が乏しい生徒もいる。平成30年度はパイオニアプログラムにより、北前船の航路を辿る経験ができたが、穏やかな瀬戸内海を「海」と認識している生徒も多いことから日本海を体感することを通して、瀬戸内海との違いや共通点などを学習させる。

また、本単元の学習を通して次のような学習も行う。

- ・郷土学習を発展させ、海の恵みや海を利用した先人の知恵に触れることにより、郷土とのつながりや関わり方を探る。
- ・自分とのつながりを考えていく力を養い、学んだことを適切な方法で表現できるようにする。
- ・健康と安全に気を付けて、協力して集団行動ができるようにする。
- ・総合的な学習の時間の中に計画的に組み込んでいる学習に加え、今回の応募した海洋学習のプランによって、島外の学校の生徒との協働的な学習の場ができる。学ぶ内容も島内だけでなく海にも視野を広げるとともに考えを深めていく活動にする。
- ・様々な体験活動を通して学習した内容を山間部の学校や他地域の者に発信することで、地域の良さを再認識するとともに表現力を身に付けさせる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

「思考力・判断力・表現力」	「主体的に学習に取り組む態度」
---------------	-----------------

1-7. 単元の展開（全23時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
6	地域の海岸線を散策し、地域の海岸の清掃活動を行う。 ・地域の海や海岸を散策することを通して、地域の良さや課題などについて考える。 ・地域の海の漂流物や生物について観察を行うと共に清掃活動を行う。	・グループで協働して行動させる。 ・地域の良さや課題について考えることができる。 ・散策経路の休憩地や海岸の管理者との連携を行う。
1	写真コンクール ・散策中に撮影した写真を印刷し、タイトルを付けて掲示する。 ・よいと思う写真に投票する。	・地域の良さを表現できている作品を選ばせる。 ・地域の写真家の方にも見ていただき寸評をいただく。
1	海洋学習の目的や留意点等を学習する。 ・しおりの内容を確認し、目標を決定する。 ・交流活動の計画立案	・グループを確認し、安全面等の注意を意識させる。
6	海洋学習遠足 ・アクアス見学 ・日本海の体験 ・アクアス職員による海洋学習	・協働的に活動させる。 ・海洋生物の特徴を意識させながら観察させる。 ・安全面に十分に留意させる。 ・日本海と瀬戸内海の生物や漂流物の違いについて考えさせる。 (講師：魚類展示課 学習交流係 山口慶子係長)
1	海洋生物についての学習 ・しおりの内容についての確認を行う。 ・日本海と瀬戸内海の違いや共通点について確認する。	・日本海と瀬戸内海の違いや共通点を認識できている。
1	四行詩（1年）・短歌（2年）・俳句（3年） ・海洋学習で作成したお互いの作品について交流し、表現の仕方について学習する。	・自分の思いを表現できている。
6	「うみ・やまサミット2019」 ・三次市の中学校と一緒に藻塩体験やシーカヤックの体験活動を行う。また、海洋学習遠足で学んだことを加えた学習成果を発表する。 ・互いの地域の特色を紹介し、互いの地域の課題や良いところを考える。	・他者との関わりを通してコミュニケーション力や表現力を育成する。 ・それぞれの地域の良さや課題について考えることができる。
1	海洋学習の内容を英語で表現する ・ALTにアクアスまでの行程やどんなものがあったのかを紹介する文章を作成し、発表する。	・行程の表現の仕方や海洋生物については質問させたり、辞書を使用させたりする。 ・できるだけ多くの生徒に表現させる。

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

海岸漂着物と海流との関係を知り、持続可能な社会の実現のために自分たちでできることを考える

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1 石見海浜へ移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに教員が先導して移動する。</li> </ul>
2 石見海浜で日本海の生物や漂流物について観察し、採取できる物は採取する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物についてはなかなか採取できなかった。</li> <li>・漂流物についても清掃活動後だったのであまり採取できなかった。</li> <li>・日本海の景観に驚いている生徒が多かった。</li> <li>・視界の中に島がないことに驚いていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸での注意点を確認</li> <li>・積極的に活動しているか（観察）</li> <li>・協働的に活動できているか（観察）</li> </ul>
3 アクアスの職員による講義 <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチックの原料が多く流れ着いていること</li> <li>・様々な漂着物が紹介され、バーコードの表示があるものはどこの国の物か識別できること。</li> <li>・どのような海流に乗って漂着したかの確認</li> <li>・漂流物によっては海洋生物を傷つけること</li> <li>・注射針などの危険な物も漂着していること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題意識をもって聞いているか（ワークシート）</li> <li>・主体的に考え、質問できているか（観察）</li> </ul>
4 アクアスの職員へのお礼 <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者が学んだことを交えてお礼を述べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義の趣旨を理解できているか（観察）</li> <li>・分かりやすく表現できていたか（観察）</li> </ul>

### 2-4. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-5. 本時の目標

- (1) 海の学校と山の学校の取組や課題を交流し、それぞれの地域の特色について知る。
- (2) 海や山の地域を素材として、地域の良さや課題を見だし、情報を整理・分析してまとめたことを発信することができる。
- (3) ふるさとを大切に思う気持ちを育て、他者とのかかわりを通してコミュニケーション力や表現力を育てる。

2-6. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 蒲刈中学校の進行による開会行事を行う。</p> <p>① 蒲刈中学校長挨拶／それぞれの役割を実行できていた。</p> <p>② 蒲刈中学生代表歓迎の言葉／代表生徒として趣旨を踏まえた挨拶ができていた。また、他の生徒も役割を実行できていた。</p> <p>2 交流プロジェクトⅠを行う。</p> <p>①蒲刈中（海の学校）から報告等を行う。</p> <p>・「蒲刈の紹介」、「防災の取組」、「合唱披露」 ／相手意識をもって分かりやすく説明できていた。 ／自分の役割を実行できていた。 ／人数は少ないが、立派な合唱を披露できた。</p> <p>②三和中（山の学校）から報告等を行う。</p> <p>・「三次の紹介」、「防災の取組」、「創作エイサー披露」 ／自分たちの地域との違いを意識しながら聞くことができていた。</p> <p>3 交流プロジェクトⅡ「スマイル交流会」</p> <p>・県民の浜へ移動し、グループごとにプロジェクトⅠを受けた協議等を行う。</p> <p>／課題意識をもって積極的に協議することができていた。</p> <p>4 交流プロジェクトⅢ—①「海の体験：藻塩づくり体験」 交流プロジェクトⅢ—②「海の体験：シーカヤック体験」 ／藻塩づくりやカヤックの操作について興味を持って取り組んでいた。 ／どちらの活動も協働して取り組んでいた。</p> <p>5 三和中学校の進行による閉会行事</p> <p>① 三和中学生代表お礼の言葉</p> <p>② 三和中学校長挨拶</p> <p>6 本時の振り替りを行う。</p> <p>／海と山の違いや防災意識の違いなどを振り返っていた。 ／地域の体験活動を体験し、地域の良さを実感していた。</p>	<p>・主体的に考え、自分の役割を実行できているか（観察）</p> <p>・分かりやすく表現できているか（観察）</p> <p>・協働的に活動できているか（観察）</p> <p>・課題意識をもって聞いているか（観察）</p> <p>・主体的に考え、自分の役割を実行できているか（観察）</p> <p>・主体的に考え、質問できているか（観察）</p> <p>・安全面や塩づくりの歴史等を理解できているか（観察）</p> <p>・協働的に活動できているか（観察）</p> <p>・課題意識をもって聞いているか（観察）</p> <p>・課題意識をもって聞いているか（観察）</p> <p>・異なる地域のそれぞれの課題について考えることができているか（ワークシート）</p> <p>・地域の良さを見付けることができたか（ワークシート）</p>

### 3. 今回の活動の自己評価

アクアス見学の日には、バスの移動が思った以上に時間がかかってしまい、見学時間の短縮や日程の変更をしなければならなくなったが、生徒たちは瀬戸内海との違いを実感でき、素晴らしい経験をする事ができた。実際に日本海を目の当たりにして感動している生徒も多かった。

また、アクアスの職員の講義では、漂流物の問題が日本だけの問題ではなく、世界規模で考えていかねばならないことに気付かせることができ、環境汚染や生態系の問題など多岐に発展的に考えるきっかけとすることができた。

異年齢の交流、また、他校との交流においても生徒なりに工夫してコミュニケーションをとろうとしていた。意外な生徒が積極的に活動している様子を発見でき、教員にとっても多くの発見のある活動とすることができた。

### 4. 今後の課題

今回の学習で環境問題や生態系の問題などのきっかけとすることができたので、本活動をどのように発展させ、地域の活性化も含めた持続可能な社会の実現に向けて、それぞれの役割や自分にできることを実行できる生徒の育成に取り組んでいきたい。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にありません。

#### [海洋学習遠足]

アクアス内の見学の様子



日本海での現地学習の様子



#### [うみ・やまサミット]

開会行事



合唱披露



創作エイサー披露



藻塩づくり学習及び体験



シーカヤック体験

